

観光終了後は、最後の稽古会場へ到着。



ドイツ語、英語の通訳を交えて湯村会長挨拶

『グラーツでは、ハードなトレーニングでしたので続けて参加の方々は、お疲れの事と思います。私たちのメンバーは、全て60歳以上ですが、一生懸命皆さんの相手をしたいと思えます。皆さんが、一つでも得る物があれば我々は喜んで帰ります。我々が気の付いた事を一つずつ説明します。これからの剣道の参考にして頂ければ嬉しいです。それでは、始めましょう。』



この日は、エースのブライアンも復帰し、ルカスや見覚えのあるメンバーが多く参加しました。



野口先生の基本打ち指導



井上先生の初心者指導
全員による指導稽古



終了後に野口先生より

『湯村先生からのご指摘です。皆さん一生懸命打ち込んでます。でも打ち込み方が小さい。結局早く打とうとして右手で当てに行っています。左手の小指が支点にして打つと、小さい動きで強い打ちが出来ます。右手を支点にすると、剣先迄が短く打ちが弱い。しっかり練習してください。』という最後の指導でした。

剣士館・ウィーンの剣道クラブを代表してロス会長よりお礼の挨拶

『湯村先生をはじめ、曾根先生、野口先生そして多くの先生方に来て頂いて本当に感謝しております。我々は、先生方の比較的シンプルなお指導にも関わらず、中々上手く実践出来ません。来年来られる迄に少しでも進歩出来るよう努力します。

この後の懇親会でも、少しでも剣道について教えて頂ければありがたいです。』
これにて最後の稽古を終了。

湯村会長とヨーロッパ剣道連盟副会長ホーク氏



懇親会の前にホーク氏六段昇段のお祝いに会より袴をプレゼント

大勢のオーストリア剣士が参加してくれて、楽しい懇親会となりました。
終宴後は、最後の夜となったウィーンを歩いてホテル迄帰る者、もう一回りと夜の街へ消えて
行く者、様々な過ごし方で楽しい最終日を終了しました。

9月21日

いよいよ帰国当日。ホテル迄、ロス会長が見送りに来て下さいました。

バスでウィーン空港まで移動。

ウィーン空港からヘルシンキ空港へは、全員がフィンランド航空 AY766/L 便で AM11:15 出発。

乗り換えハブ空港へは、PM2:40 到着でそれぞれの次の出発迄は若干時間に余裕があり、最後のショッピングを楽しむ方もいらっしゃいました。

東北・関東クラブは、成田空港へ向けフィンランド航空 AY73/L 便で PM5:00 出発。

東海クラブは、中部空港へ向けフィンランド航空 AY79/L 便で PM5:00 出発。

近畿・中国・九州クラブは、関西空港へ向けフィンランド航空 AY77/S 便で PM5:15 出発。

それぞれの空港へ向かって最後のフライトになりました。



我々近畿・中国・九州クラブは、関空へ翌 22 日 AM9:30 到着でした。

各自荷物を受け取り、湯村先生・野口先生を中心に解散式を行い、来年も又元気で集まりましょうと誓って帰路につきました。

おわりに

2回目のヨーロッパでした。国際の全国例会で過去にオーストラリアや台湾、韓国の剣士とは試合や稽古をお願いした事はありませんでしたが、ヨーロッパ剣士とは、初めてでした。

先ず、礼儀正しくマナーの良さには驚きました。日本人に比べ体力に勝る彼らが異国の武道に一生懸命取り組んでいる姿はなんとも言えない感銘を受けました。

微力ながら、この方達の為に出来る事があれば役に立ちたいと素直に思いました。

恥ずかしながら、語学力がなく剣道用語そのものは日本語と同じでも、内容の説明を彼らの母国語で出来ないのが残念でなりませんでした。

ハンガリー・チェコ・オーストリアなどに在住の日本人の方々の力・語学力を借り、ジェスチャーを交えてどの位伝わったかわかりません。

世界中、特に未だ剣道未体験国へ出向いて開拓されている前野先生には頭がさがります。

湯村会長・曾根理事長・野口先生や井上先生の指導力には恐れ入りました。

我々にも同じ教えを受けた貴重な時間でした。

本当にありがとうございました。

中国地区クラブ 守本佳了